

## STAGE+を楽しむ(231)(HP 収載)

—メンデルスゾーンの2台のピアノのための協奏曲—

### 1. 始めに

前報(230)に引き続き、STAGE+のユッセン兄弟のメンデルスゾーンの2台のピアノのための協奏曲の演奏の試聴を実施します。

### 2. 試聴音源

今回は、STAGE+のユッセン兄弟のメンデルスゾーンの2台のピアノのための協奏曲の演奏を選びました。

ユッセン兄弟とネルソンスがメンデルスゾーンの協奏曲で共演  
コンサート

ゲヴァントハウス管弦楽団

収録日: 2025年3月1日

本映像では、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団と現カペルマイスターのアンドリス・ネルソンスによる演奏会をお届けします。最新鋭のコンサートホール、ドルトムント・コンツェルトハウスでライブ収録されました。プログラムの幕開けを飾るのは、マーラーが当初交響曲第1番の第2楽章として作曲し後に削除した《花の章》。次に、アルトゥール&ルーカス・ユッセン兄弟が登場し、1835年から1847年まで当楽団のカペルマイスターだったメンデルスゾーンの2台ピアノと管弦楽のための協奏曲を演奏します。演奏機会は少ないながらも、弱冠14歳の作曲家による華麗かつ瑞々しい作品です。演奏会を締めくくる、ドヴォルザークの生命力溢れる交響曲第8番では、彼のオーケストレーションの見事さとメロディーメーカーとしての才能を存分に感じていただけることでしょう。

ソリスト:

ルーカス・ユッセン (ピアノ)、アルトゥール・ユッセン (ピアノ)

演奏:

ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団

指揮:

アンドリス・ネルソンス

曲目:

グスタフ・マーラー 《花の章》(交響曲第1番初期稿より)

フェリックス・メンデルスゾーン 2台のピアノのための協奏曲ホ長調 BWV O 5  
ルーカス・ユッセン(ピアノ)

アルトゥール・ユッセン(ピアノ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

《マタイ受難曲》より 〈愛ゆえにイエスは死のうと〉

(グレッグ・アンダーソンによる 2 台ピアノ版)

アントニン・ドヴォルザーク 交響曲第 8 番ト長調 op. 88



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。マーラーの《花の章》は小粋な小品です。

メンデルスゾーンの 2 台のピアノのための協奏曲は初めて聴くものですが、美しくロマンチズムあふれる曲で、ユッセン兄弟がしなやかに演奏します。

バッハの《マタイ受難曲》からの〈愛ゆえにイエスは死のうと〉のピアノ版は、アンコール曲のようで、これも美しく編曲されています。

ドヴォルザークの交響曲第 8 番はお馴染みの曲で、東欧の牧歌的な表情から 3 楽章の民俗舞踊調、終章の疾走まで、ネルソンス指揮ゲヴァントハウスが冴えた演奏を展開しています。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結した結果、ユッセン兄弟のしなやかなピアノ演奏とネルソンス指揮ゲヴァントハウスによるドヴォルザークの東欧の牧歌的な風景が楽しめました。

以上